



日本クリスチャン・アシュラム連盟

日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創設されたキリストの新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕

〒165-0027 東京都中野区野方 1-55-1 天門教会内 日本クリスチャン・アシュラム連盟 振替口座 東京 00100-1-4558

御言葉への静聴を！

関西アシュラム支部長

清水 潔



聖書にはマリアという女性が9人ほどいる。①旧約・出エジプト記にはモーセの姉ミリアム(ヘブライ名)。生まれて3か月のモーセを葦の茂みに隠して様子を見ていると、

エジプトの王女が発見し引き取った。すかさず出てきた彼女は「その子に乳を飲ます乳母を」と申し出て、実の母を連れて来ている。80歳を過ぎた頃、モーセはイスラエルの民をエジプトから救出した。彼女は小太鼓を手に取り、踊り歌った。

②新約の筆頭は主の母マリアである。ルカ1章38節では天使のみ告げを受け「わたしは主のはしめです。お言葉どおり、この身になりますように」と受け入れている。

パリのセーヌ川シテ島にはノートルダム大聖堂がある。ノートルダムとは貴婦人の意で、聖母マリアのこと。ヨーロッパには同じ名の教会があるが、ベルギー・ブルージュの聖堂のミケランジェロの聖母子像が有名である。

③「七つの悪霊を追い出された」マグダラのマリア。裕福な彼女は主の伝道を支えた。十字架の下に佇んで見守り、主のご復活に最初に出会っている。パリにマドレーヌ大聖堂がある。まるでギリシャ神殿のようだ。マグダラのマリアを記念して建てられたという。

④エルサレム近くにベタニヤ村がある。そこにマルタ、マリアの姉妹と弟ラザロの住む家があり、主の一行はよく立ち寄った。姉のマルタは接待に忙しく働いている。妹マリアは主の足も

とに座ってみ言葉に聞き入っていたという。マルタは心を取り乱し、主に向かって「主よ、わたしの姉妹はわたしだけにもてなしをさせていますが、…手伝ってくれるようにおっしゃってください」と言っている。主は「マルタ、マルタ、あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。しかし、必要なことはただ一つだけである。マリアは良い方を選んだ」とお答えになった。(ルカ10章39~42節)

マリアにはもう一つの話がある。ヨハネ12章には、主の一行がベタニヤを最後に訪れた時のことが記されている。マリアが高価なナルドの香油を持って来て、主の足に塗り、髪の毛で拭いたのである。マタイ、マルコにも記されているが、マリアの名がなく、香油は頭に注がれている。ユダヤでは大勢で食事をする時は食卓を真中に置き、周りを背もたれのないソファで3、4人ずつ組んで頭を真中に足を外に投げ出して寝そべるようにして食べる。そうであれば、マリアが香油を足に塗ったという方が自然だ。主が弟子たちの足を洗って回られたのも同様である。

いずれにしても列座の人々は驚いた。イスカリオテのユダが言った。「なぜ、この香油を三百デナリオンで売って、貧しい人々に施さなかったのか。」すると主は言われた。「この人のするままにさせておきなさい。わたしの葬りの日のために、それを取って置いたのだから。」

マリアが主の十字架による死を察知していたかは不明であるが、主の足もとでみことばに聞き入っていた彼女には考えられないことではない。ローマ10章17節には「実に信仰は聞くことにより、しかも、キリストの言葉を聞くことによって始まるのです」と書かれている。日常の忙しさや思い煩いから離れて、静かにみ言葉を聴く者となろう！

冒頭はアシュラム五大原則の2項目である。

霊想 神に従順に仕える

単立 函館栄光キリスト教会

牧師 佐々木 雄次



「知らないのですか。あなたがたは、だれかに奴隷として従えば、その従っている人の奴隷となる。つまり、あなたがたは罪に仕える奴隷となって死に至るか、神に従順に仕える奴隷となって義に至るか、どちら

らかなのです。……」ローマ 6 章 16 節 - 23 節

二つのことが言われています。一つは、「人は罪に仕える奴隷となるか、神に仕える奴隷となるかのどちらかであり、それ以外はない」ということ。もう一つは、「主人が定まれば、行き着く先も定まる」ということ。つまり、「罪を主人とした人の行き先は死であり、神を主人とした人の行き先は義である」ということです。

「あなたがた」と呼びかけられた人たちは、この二種類の奴隷たちがどうなるか知らない人たちだったのでしょうか。そうではありません。「あなたがた」は、奴隷たちの行き先をよく知っているはずなのです。

「しかし、神に感謝します。あなたがたは、かつては罪の奴隷でしたが、今は伝えられた教えの規範を受け入れ、それに心から従うようになり、罪から解放され、義に仕えるようになりました。」17-18 節

「あなたがた」は、かつては罪の奴隷でしたが、今は伝えられた教えの規範を受け入れ、それに心から従うようになり、罪から解放され、義に仕えるようになった人たちなのです。

けれど、「あなたがた」の気持ちは、「罪の奴隷に戻る」という誘惑に襲われ、ぐらついていたのでないでしょうか。というのは、「あなたがた」の仲間の中には、罪の赦しを曲解し、義に仕えようとしなくなった者たちがいて、「あなたがた」の信仰をぐらつかせていたのです。悪い仲間が「恵みが増すように、罪の中にとどまろうではないか」(1 節)とか、「律法の下ではなく恵みの下にいるのだから、罪を犯してもよいのだ」(15 節)などと言って、罪を犯すことを正当化し、恥ずかしくなるような罪を重ねていたのです。

このようなこじつけほどキリストの十字架と神の赦しを侮辱し、聖霊を悲しませることはあり

ません。十字架の贖いによって罪赦された者は、主イエスの「もう罪を犯してはならない」(ヨハネ 8:11)という命令を、決して忘れてはならないのです。

パウロの「知らないのですか」という言葉は、反語であって、「あなたがたが知らないはずはない」という意味であり、「あなたがた」に「罪の奴隷の悲惨さ」と「神の奴隷の祝福」を思い出させるための導入句だったのでしょう。彼は、次のように言います。

「あなたがたは、罪の奴隷であったときは、義に対しては自由の身でした。では、そのころ、どんな実りがありましたか。あなたがたが今では恥ずかしいと思うものです。それらの行き着くところは、死にほかならない。あなたがたは、今は罪から解放されて神の奴隷となり、聖なる生活の実を結んでいます。行き着くところは、永遠の命です。罪が支払う報酬は死です。しかし、神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。」20-23 節

「しかり、アーメン」です。わたしたちも皆、かつては罪の奴隷でしたが、「神の独り子の命」という高価な代価によって買い取られ、神の僕とされたのです。このことを心に刻み、「神に従順に仕える僕」でありたいです。

けれど、わたしたちのような不従順な者が「従順な僕」になれるのでしょうか。

パウロはローマ書 1 章 5 節で「わたしたちはこの方により、その御名を広めてすべての異邦人を信仰による従順へと導くために、恵みを受けて使徒とされました」と言っています。「信仰による従順」という言葉に注目しましょう。わたしたちが従順であるのは、「信仰」によってだけでありましょう。ではどうしたら、信仰を持ち、保つことができるのでしょうか。パウロは「実に、信仰は聞くことにより、しかも、キリストの言葉を聞くことによって始まるのです」(ローマ 10:17)と言っています。使徒パウロの言葉を信頼し、いつも「キリストの言葉」を聞きたいです。失敗することは多いでしょうが、何度でも悔い改めて、御言葉に立ち返り、神に従順に仕える奴隷でありたいです。

「わたしの愛する人たち、…今はなおさら従順でいて、恐れおののきつつ自分の救いを達成するように努めなさい。あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神であるからです」(フィリ 2:12-13)。

アシュラムの幸い

日本基督教団 東京新生教会 信徒 杉山 久恵

秋も深まってきた 11 月 13 日(日)、東京新生教会ではアシュラム礼拝と集会が持たれました。



はじめに、佐々木牧師の聖書朗読、詩編 133 編 1 節「見よ、兄弟が共に座っている。なんとという恵み、なんとという喜びにより、今私たちがこうしてともに座っていること」を静聴し、この状態が神様もともに喜んで下さることなのだと思われて、なんと幸いなことかと思ったことでした。それに続いて、I コリント 12 章 1~3 節を主題とした横山義孝師の主日メッセージです。「神の霊によって語る人は、だれも『イエスは神から見捨てられよ』とは言わないし、また、聖霊によらなければ、だれも『イエスは主である』とは言えないのです。」

その中で 1960 年 3 月 13 日に主日メッセージをなさったときの体験談を語られました。メッセージ開始の瞬間「聖霊の働き」に満たされたとのこと。誠実な深い信仰がどのようなものであるのか、と深い感銘を受けました。

分団の時間には 5~6 名ずつの班に分かれて、各々の現状を含めて自分の信仰状態、希望等を発表し合っただけです。健康状態や、家族を天に送られた方の思い、未信の家族への対応、子供たちの将来について等々、現在抱えている問題点がありながらも、主を信じてお委ねしている今を話し合いました。

毎週日曜顔を合わせていても、心の奥の思いまではなかなか話し合う時間をとれない私たちですが、こうして主を信じる仲間として、心を開いて話し合い、み言葉によって慰められ力をいただくことができる幸いを覚え、感謝したことでした。

一人一人は小さく弱い存在ですが、このように主なる神様を信じる者同士の交流は、慰めと、新しい力、方向性をも与えられるものだな、とアシュラムを通して感じました。コロナ禍で、教会は共に集まることが難しい期間を過ごしましたが、今回アシュラム集会ができたことで、教会一同、勇気をいただいたことです。感謝致します。

アシュラム集会で示された御言葉

山梨県 関東アシュラム出席者 小松 有也



ここ数年、新型コロナウイルスのために開かれていませんが、その前 4、5 回、毎年 9 月箱根で開かれる 2 泊 3 日のアシュラム集会に集わせてもらいました。その時の主なニードは、次男の様々な不具合に私がどう対処したらいいかということでした。次男は

苦勞するために生まれて来たような者で、1977 年の正月早々、生後 8 か月ごろ肺炎になり、その時病院で脊髄液を採取検査され、その大きなショックが PTSD として残って

しまったようです。その後は、幼児期から高校までの喘息、小学校時代のいじめ、高 3 の時からの拒食症、その後継続的に起きた統合失調症の様々な症状など、次々に健康障害を経験し、比較的元気そうだったのは中学の時ぐらいでした。拒食症の時は、どんどん痩せていくのを見て恐れました。「なに故かく臆するか、信仰なきは何ぞ」（マルコ 4:40）との御言葉を短冊に書いてポケットに忍ばせ、時々見て祈り、慰められていました。ただしこの時、私も西式甲田療法を研究して二人で一緒に実践したおかげで、あと数か月で 80 になる私は良好な体調を維持しています。

次男は高校卒業後、一時アルバイトをしていましたが、それもやめてずっと無職でいます。その間、自分でいろいろな治療法を研究して、20 年近く続いた精神的な葛藤は何とか克服したようです。しかし、その後、電磁波公害や低周波公害に悩まされています。特に低周波公害は防ぎようのない難物で、転地以外、解決策はないようです。

そんな問題を抱えて、私はどうしたらいいのか、アシュラムの連鎖祈禱の場で祈っていました。その時与えられたのが、「何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、すべての理解を超えた神の平安が、あなたがたの心と意思をキリスト・イエスにあって守ってくれます」（ピリピ 4:6-7）という御言葉です。

この御言葉により、今まで良かれと思って私が次男に対してしてきたことは、マイナスばかりであった。これからは、私はただ感謝と祈りのうちに、次男の今後の在り方について、願い求める所を神と主キリストに申し上げていけばいいんだ。そうすれば、きっと神が最善の道を次男のために開いていって下さるとの確信を与えられました。私自身は一切を神に申し上げて、次男から手を放し、ただキリストに依存し、期待していこうと思います。

第 14 回函館栄光キリスト教会ミニ・アシュラム報告

単立 函館栄光キリスト教会 牧師 佐々木 雄次

日時 10 月 10 日(月・祝) 午前 10 時~午後 3 時 30 分

主題 「信仰による従順」(ローマ書 1 章 5 節)

出席者 16 名

プログラム ①開心の時 90 分(開会礼拝を兼ねる。聖書ローマ書 6 章 15-23 節) ②御言葉の静聴と分かち合い 60 分(聖書ローマ書 6 章 15-23 節) ③昼食 30 分 ④祈りの細胞 70 分(4 グループ) ⑤充満の時 60 分 ⑥記念撮影 20 分。

一昨年と昨年は午後 1 時から 4 時半までの半日アシュラムでした。今年は昼食(黙食。おにぎりとお茶)をとって、一日アシュラムにしました。出席者は余裕を持ってプログラムに取り組むことができ、とても良かったと思います。



第 55 回関西アシュラム報告

書記 脇田 眞一

日時 10 月 10 日(月・祝)午前 10 時~午後 5 時

主題 「御言葉への静聴と立証」

助言者 東京聖書学校前校長 島隆三師

会場 大阪クリスチャンセンター

出席者 29 名(信徒 18、教職 11)

プログラム ○開会礼拝・挨拶 清水潔師

○講演①「み言葉が響く」 I テサロニケ 1 章

②「み言葉に生かされる信徒」 I テサロニケ 3 章

恵まれた教会
では、説教は会衆
と一緒に語り、ア
シュラムでは主
体的に聞き、み言
葉を神の言葉と
して受け取ること
が大切であると語
られた。



○静聴の時・分かち合いは脇田師が担当。I テサロニケ 4~5 章を読み、五組に分かれて「祈りの細胞」の時を持つ。
○充滿の時は小柴正己師が担当。マタイ 6 章 9~13 節「主の祈り」を説教。○進行係と閉会は金武士師。奏楽は深谷与那人師が担当。○今回より事務局が次の通り変更。

〒537-0014 大阪市東成区大今里西 1-25-11

日本キリスト合同東成教会 谷口和牧師

一日アシュラムの恵み

牧之原ビジョン教会 引退牧師 横山 勲



2022 年 9 月 20 日、牧之原ビジョン教会において一日アシュラムを持つことができました。おりしも台風 14 号の直撃を受ける予報にキャンセルする人も出る中、前日の 19 日に貴村かたる助言者が東京より車でおいで下さり、予定ど

おり行うことができました。幸い台風も進路からそれて、朝から好天にめぐまれてのスタートとなり、会場には鈴木徹兄の毛筆によるアシュラムのみ言葉一イエスは主である一が掲げられました。

参加者はアシュラム経験者で、藁科寿枝姉(大井川キリストの教会)、浮島敦子姉(LWF 島田教会)、原ゆり子姉(新城教会)、横山勲兄、政子姉、鈴木徹兄、光子姉(牧之原ビジョン教会)、それに助言者を入れて 8 名でした。昼食会

の時には会場を提供して下さった当教会の金清大介牧師と結佳夫人、また信徒の金清輝芳兄、相田一夫兄も加わって幸いな交わりと食事の時を持ちました。

9 時のオリエンテーションから始まり、開心の時と進み、待望の福音の時となりました。

助言者の貴村かたる師はマタイ 6:9~13 から「主の祈りをどれだけ真剣に祈っているか、他の祈りをするよりも主の祈りをするのが靈的にも恵まれるのです。一日に何度でも『私は日に 50 回は主の祈りを祈っています』。主の祈りで一日を始め、主の祈りで締めくくる毎日であれば幸いです。主の祈りを常に祈ることを勧めます」と力強く語られました。主の祈りを礼拝の中から祈り会の時、たまに祈るくらいしかしていなかった者には大いなるチャレンジとなりました。

祈りの細胞では二組に分かれ、座長は関東アシュラムでもベテランの座長鈴木光子姉と横山政子姉が奉仕されました。午前と午後の祈りの細胞は祝された時で証し、祈りのノード、お交わりとで制限時間がたちまちに過ぎて、続きは来年にしようとの願いも起こされました。

昼食会の中でこの春 3 月に 82 歳で天に召された藁科茂兄を偲んで追悼の時をもち、故人愛唱歌「おどろくばかりの」を讃美いたしました。彼はアシュラムを愛し、たくさんの人をアシュラムに導きました。

4 時の充滿の時がたちまち来て、助言者の勧めは、「語られた言葉を聞き流しにしないで、心を込め信仰を持って主の祈りを祈って下さい。私も主の祈りに全てを託しています」でした。一同で主の祈りを捧げ栄光を主に帰し、御心なら来年の再会を、と祈り、散会致しました。

献金のお勧め

新年にあたりアシュラムへの献身として、同封の郵便振替用紙を用いてこの運動のためにお捧げ頂けないでしょうか。様々な物価上昇のなか大変恐縮ですが、アシュラム誌印刷代、送付費用、事務費、理事会費等に用いさせていただきます。お祈りください。

編集後記

新しい年を迎え、アシュラムの皆様はいかがお過ごしでしょうか。コロナ感染症がなかなか終息しません。その中であっても、いろいろとご苦労があり、工夫をなさりつつアシュラムが開催されていることを心からうれしく思っています。

2023 年度はコロナ感染症が終息して、皆さんが何の心配もなく各地でアシュラムが開催され、みことばの分かち合い、主にある兄弟姉妹の交わりが祝されることを心から願っています。また年 4 回のアシュラム誌発行のためにも覚えてお祈りください。(編集責任者 岡山敦彦)

事務局より

一九四九年、アシュラム創始者スタンレー・ジョーンズ博士が来日してから七十年以上が過ぎ、その当時を知る者が少なくなりました。しかし今、日本ばかりか世界でアシュラム運動は続けられています。キリストへの明け渡しと服従、御言葉への静聴と立証、聖霊の導きと充滿、教会への奉仕と伝道、神の国の体験と献身、それらを備えていく中に多くの人々がキリストへ変えられ、また、教会が歩み進んでまいりました。コロナ禍の中の三年でしたが、昨年からの多くところでアシュラムは開催されました。新しい年、神様のみわざを期待してアシュラムを開催、参加していきましょう。

☆メール

TENMONKYOKAITO@outlook.jp
☆TEL・03-3385-7491

アシュラム予告

●城北アシュラム

日時・2月11日(祝・土)

●場所・山崎製パン総合クリエイションセンター(市川)

●関東アシュラム

日時・9月18日(祝・月)~20日

(水)

●場所・山崎製パン総合クリエイションセンター(市川)

●その他、開催が予定されていますがアシュラムがありますなら、お知らせください。